

VOICE

㈱交通電業社

LED式から液晶式へ～見やすく使いやすい表示器の開発

㈱交通電業社は、1947年に関西の戦災市内電車の修復を行うために個人創業された。1951年に大阪市交通局が全国に先駆けてワンマンバスを採用することになると、車載用電気製品を納入、バス用電気製品の製造も行うようになった。現在では電車・バスの両方の製品を扱っている。

1981年に販売したLED式停留所名表示器は、日本初となる3φ

砲弾型LEDランプを使用し、漢字1文字を16×16個で構成、漢字6文字までは固定表示、6文字を超える場合はスクロールさせていた。それまでの表示器はプラズマ表示が主で、ネオン管を使用していたが、電球の寿命が短いのが問題であり、LEDに変えることで問題を解決、大阪市バスの新車に採用された。

最近では、液晶式運賃表示器&広告表示器を開発・販売を始めた。1号機を製作した時には、電源を入れてから画面を表示するまでに約40秒かかり、何も映らない画面は、運転手にとっては長い時間となる。この起動時間を短縮できないかと思案を繰り返して、約3秒で起動という速さを実現、業界初の製品を造り上げた。またアイドリングストップによる電圧変化にも強く、画面表示もレイアウトが自由に変更できる。お客様からも、起動の早さ、液晶画面の見やすさなどが好評だという。

こもぐち
菰口伸二 (1990年入社・左)
代表取締役社長
1991年、取締役就任(財務担当)、
常務取締役、取締役副社長を経て
2010年、代表取締役社長就任、現在
に至る。

染川政治 (1987年入社・右)
常務取締役
2000年取締役開発部長就任、2007
年常務取締役(技術統括)就任、現在
に至る。



日本初のLED式停留所名表示器



高性能LCDパネルを採用、高輝度、広視野角を実現。
表示画面の編集は市販のパソコン上で簡単に作成できる。



工場ではヨーロッパ、インド、アメリカなど、使用される言語に合わせて表示器が製作されている。

日本国内のみならず、海外でも㈱交通電業社の製品は高く評価され、ヨーロッパ、インド、アメリカなどからも注文が入る。

「できない」と言わず「なんとかする」、この気持ちでお客様の信頼を得、新しい製品へとつなげてきた。これからもユーザーニーズにきめ細かく応えることをモットーに製品を産み出したいという。

□㈱交通電業社 (代表取締役社長 菰口伸二)

小回りの効いた開発体制と蓄積されたノウハウで、お客様の要望に応えし、「目立たずとも社会に貢献できる企業」を目指している。

本社

〒557-0021 大阪府大阪市西成区北開 1-1-25
TEL: 06-6568-2331 FAX: 06-6567-2334
<http://www.parasign.co.jp>

私たち資材部会は、部会会員を専門分野ごとにグループ分けを行い、3分科会13グループからなる「ビジネスネットワーク」を設置しております。この「ビジネスネットワーク」は、会員のより強い連携と結束を実現し、架装メーカーに対するより積極的な協力体制が展開されています。

「VOICE」では、シリーズで部会会員会社の製品および技術が開発されるまでの経緯を紹介していきます。

㈱星光商会

マーキングフィルム～時代に沿った商品開発

設立当初、車体にロゴやマークを入れる手段は直接車に字を書くか、吹付文字ぐらいしかなかった。スコッチライト反射シートなどに印刷を施し、切り抜きをして車体に張りつけるマーキングフィルムの製作は、㈱星光商会がその先駆けであった。

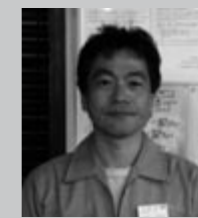
優れたスクリーン印刷技術および加工技術で、1960年代中頃には国内初のアクセントストライブを自動車メーカーより受注。その斬新なデザインは自動車ユーザーからは好評であったが、製品を精度よく、安定して製作するには多くの苦労があった。しかし、大型印刷機や型抜き用大型プレス機の導入とその操作技術の習得により、高精度のものを大量生産することを可能とした。その結果、国内自動車メーカーに多く採用されるようになった。

高耐候性を要求されるアクセントストライブや車両マーキングには、それに適合した印刷インクおよびフィルムメーカーやインクメーカー3社と協力して、時代とともに変わる顧客からの要求性能に合致したインクやフィルムの開発に努めた。現在では環境に配慮したELV指令に準じた印刷インクおよびフィルムを使用している。

現在は、㈱星光商会の特徴であるスクリーン印刷技術、特に超大型印刷技術を駆使して、交通標識、景観サイン、フリートマーキング、看板制作等に業務を拡大して、広い分野でお客様のニーズに答えている。

むかさ
向笠 久緒 (1985年入社)
課長

技術部試作設計課一筋に今日に至る。



今後も、企画から印刷・加工までの一貫した生産体制で、「小ロット・多品種製造」が必要な分野にも積極的に力を入れていきたいという。



国内で初めて企業のロゴやマークをスコッチライトフィルムを切り抜き自動車に貼り付ける「マーキング」で「車時代」の幕明けと「宣伝時代」に寄与した



国内初の「アクセントストライブ」を製作



人と車のコミュニケーションとなる「道路標識」。「見やすく」「わかりやすく」を基本に各種素材の開発、設計、施工、保守まで一貫したシステムで対応

□㈱星光商会 (代表取締役社長 薩川豊次)

人間社会の未来のWhatsを見通し、未来のNeedsを取り取る企業として日々創造革新と技術革新に努めていく。

本社

〒107-0005 東京都港区赤坂 3-9-16
TEL: 03-3585-2300 FAX: 03-3587-0246
<http://www.seikoshokai.co.jp/>